

《王宏喜・潘宝珠—中国画の世界展》

中国の歴史人物や現代の人々を通して、伝統と創造の両面から
中国の世界をご覧ください。

王・潘夫妻は上海の著名中国画家で、特に人物画が高く評価されています。本展覧会では、王宏喜が描いた、**海に生きる人々**や、**上海万博の労働者**などの現代人物画、**三国志**などの古代人物画のほか、潘宝珠の、**楊貴妃**ら**中国四大美人**や**女流詞人李清照**、**現代の少女**など、優美さが表現された作品をご紹介します。**縦1m45cm×幅3m68cm**の大作や、中国文化を代表する**孔子**や**老子**、**達磨大師**や**観音像**も展示し、絵画と人、文化を通して、伝統と創造の両面から、多彩で奥行きのある中国画の世界に迫ります。

是非、お取り上げくださいますようお願い致します。



『背中』
(海に生きる人々) 王宏喜



『孔明、孫権の参謀を説き伏せる』
ぜっせんぐんじゅ
(三国志・舌戦群儒) 王宏喜

- 【催事概要】****[名称]** 王宏喜・潘宝珠 — 中国画の世界展 **[会場]** 日中友好会館美術館
[会期] 2011年6月6日(月)～6月26日(日) **[休館日]** 水曜日 **[入場料]** 無料
[開館時間] 10時～17時 (初日は、14時の開幕式後より開館となります)
[主催] 財団法人日中友好会館、上海市美術家協会
[後援] 中華人民共和国駐日本国大使館、(社)日中友好協会、日本中国文化交流協会、(社)日中協会
[協力] 酔墨会・日中書画芸術交流協会
〈展示内容〉 人物画を中心に、古典と現代を題材とした、王・潘夫妻の中国画 40点余りを展示。
〈イベント〉 6月6日(月)14時からの開幕式に王・潘夫妻が出席し、15時から制作実演を実施する。
〈お問い合わせ先〉 財団法人日中友好会館 文化事業部 担当:末森、木暮 E-mail: bunka@jfcf.or.jp
 住所: 〒112-0004 東京都文京区後楽 1-5-3 TEL: (03) 3815-5085 FAX: (03) 3811-5263



『楊貴妃』 潘宝珠

【画家紹介】

【王宏喜】 1939年江蘇省灌雲県生まれ。中国美術家協会会員、上海美術館研究館員。1960年南京芸術学院入学。卒業後、上海人民美術出版社、江蘇省連雲港市文教局を経て、1980年江蘇省連雲港市美術家協会主席に就任。

中国人物画に重点を置き、山水画、書のほか、古典文学もたしなむ。中国著名文化人の作品を多数創作し、人物と共に、その背景や命運を描き出す作風が、高く評価されている。大型作品の制作も行い、上海・玉仏寺に収蔵された、縦0.7メートル×幅150メートルの『五百羅漢図』は、五百羅漢と二百余りの人物の姿を描いている。国内外で数多く展覧会や講義を行い、1986年に大阪堺市博物館にて個展を開いた。

【潘宝珠】 1943年上海生まれ。学問を重んじる家庭に育ち、幼少より画を学ぶ。上海人民美術出版社美術編集、中国連環画研究会会員、君甸芸術院芸術顧問、交通大学思源書画研究所高級画師、上海海上書画研究所研究員、アメリカヒューストン中国美術協会永久会員等を務める。

中国画の草花や竹、優美な女性画を得意とし、現代人物画では、活発で天真爛漫な少女の作品を多く創作している。人物の豊かな表情と内面を描く作風が好評を博している。中国画の他にも、上海人民美術出版社で連環画の創作と編集に携わり、世界文学名著連環画『アラビアンナイト』、『オズの魔法使い』等が出版されている。

展示作品の特徴

1、生き生きとした現代人物画

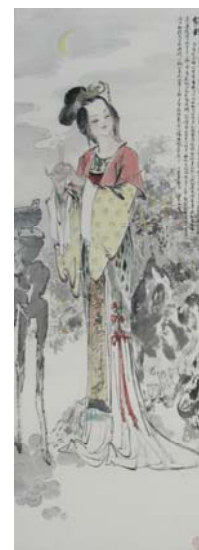
中国画の中でも、特に現代人物画は、画家の力量が問われます。墨と筆を使い、伝統的な技法を用いて、現代人の姿を表情豊かに表現した作品からは、新鮮さと、変わることのない民族性が感じられます。



(左)『鼠と戯れる』潘宝珠
(右)『万博の功労者』王宏喜

2、味わい深い古典人物画

諸葛孔明や関羽などが登場する、三国志を題材にした作品や、楊貴妃ら中国四大美人など、日本の方にも馴染みのある、代表的な歴史人物が展示されています。臨場感溢れる作品からは、古代に生きる人々の息遣いが聞こえてきそうです。



(左)『呂布、劉備・関羽・張飛と戦う』王宏喜
(右)『貂蟬』潘宝珠
(中国四大美人、三国志「美女連環の計」)

3、中国の伝統文化・思想、文学・文人

王・潘夫妻は、中国の古典文学や著名文化人に造詣が深く、文学や文人を題材にした作品を多く創作しています。孔子、老子、達磨大師、観音像、竹林の七賢、中国を代表する女流詞人・李清照など、それぞれの背景や人物の風格を表現し、独特の趣きがあります。



(左)『蓮の香を残せる秋』(女流詞人・李清照) 潘宝珠
(右)『竹林の七賢』王宏喜

4、繊細かつダイナミックな表現

今回の展覧会では、縦 1m45cm×幅 3m68cm の大きな作品を 3 点ご紹介します。

様々な技法を取り入れ、高い技術と細かな描写で表現された作品は迫力があり、情感のこもった繊細な人物の表情も、とても見ごたえがあります。



『海を望む』(海に生きる人々) 王宏喜